

第6次神戸市基本計画（素案）の概要について

1. 策定の趣旨

本市では、まちの将来像や方向性を描く総合基本計画（基本構想・基本計画・実施計画）がいずれも令和7年度末に計画終期を迎えることから、令和5年度より新たな計画の策定に着手し、令和6年度に最上位計画である「神戸市基本構想」を策定した。

下位計画となる新たな基本計画については、神戸のこれまでの歴史や現状、多様化・複雑化する社会課題を踏まえながら、基本構想を基に10年後の神戸のありたい姿と、その実現に向けた方向性を示すものとして策定の取り組みを進めてきた。



2. 第6次神戸市基本計画（素案）の作成までの取り組み

（令和6年度）

- ・神戸市総合基本計画審議会に新たな総合基本計画の審議を諮問。
- ・WEB アンケートや体験型のワークショップを通じて市民等の未来への想いや意見を収集。
- ・基本構想や収集した意見等を踏まえ、次期「基本計画」のたたき台を作成。

（令和7年度）

- ・たたき台をもとに、ワークショップやWEB アンケート、はじめての市政参画※を通じて市民等の想いや意見を収集。
- ・収集した意見等を踏まえ、審議会において議論を重ね、素案を作成。

【参考】市民参画の取り組み概要（基本計画策定に参画した市民・関係者の総数：51,026人）

- ・令和6年度の取り組み（たたき台作成に向けた意見収集等）

取り組み	回答・参加者数
WEB アンケート	9,318人
体験型ワークショップ	198人（9回）

- ・令和7年度の取り組み（たたき台のブラッシュアップ）

取り組み	回答・参加者数
ワークショップ等	3,937人（106回）
はじめての市政参画※	32,552人
WEB アンケート	5,021人

※はじめての市政参画：GIGA スクール端末を活用した市内小中学生等からの意見収集事業

3. 第6次神戸市基本計画（素案）の構成

（1）10年後の都市像

- ① “ともに描いた10年後の神戸”
- ② KGI（数値目標）

（2）都市像を実現するための方向性

基本姿勢 未来を見据えた都市の持続可能性を最重視

方向性Ⅰ 世界と繋がる2つの港 「新たな時代の国際都市」へ

方向性Ⅱ 個性豊かで多様な地域の融合「日常と非日常が交わり続ける都市」へ

方向性Ⅲ ともに乗り越え育んだ絆「いつまでも幸せを感じ、分かち合える都市」へ

4. 今後の予定

- 令和7年12月 次期「基本計画（素案）」にかかるパブリックコメント（1月8日（木）まで）
- 令和8年1月 第4回審議会：パブリックコメントを踏まえた審議・答申案の議論
審議会の答申を受領
- 2月 議会へ提案し、議決を経て策定
- 4月 施行

【参考】 次期「総合基本計画」策定全体スケジュール

